

農協の女性登用に関する状況（令和7年度） － 結果のポイント －

令和7年度における農協役員の女性登用に関する状況のポイントは以下のとおり。

前年度に続き、女性役員の比率や目標・計画の設定状況等の女性登用の取組は緩やかに進んでいる。

《全体》

- 全農協役員数は減少（12,971人（前年度比－442人））したが、全女性農協役員数は1,535人（前年度比＋22人）と増加した。
- 全農協役員に占める女性の割合は11.8%となり、女性の参画割合は前年度と比較して0.5ポイント上昇した（令和6年度は11.3%）。

《都道府県別》

- 女性登用に関する目標は43の都道府県で設定され（前年度比同数）、女性登用取組計画は37都府県で設定された（前年度比＋2県）。
- 女性の農協役員比率は岐阜県（20.8%）が最も高かった。女性の農協役員比率の伸び率（前年度比）では、三重県が最も高かった。

【女性役員比率上位3県】

1位：岐阜県（20.8%）、2位：山口県（20.0%）、3位：愛知県（19.4%）

【女性役員比率伸び率上位3県】

1位：三重県（＋4.6%）、2位：茨城県（＋3.2%）、3位：香川県（＋3.1%）

《農協別》

- 女性の農協役員の比率が20%（※）以上となった農協は47（全体の9.5%）となった。

※食料・農業・農村基本計画（令和7年4月閣議決定）のKPI及び第6次男女共同参画基本計画（令和8年3月閣議決定）の成果目標

- 農協別では、滋賀県グリーン近江農協（28.1%）が最も女性の農協役員の比率が高かった。

1位：滋賀県グリーン近江農協（28.1%）、
2位：大阪府九個荘農協（27.8%）、3位：愛知県なごや農協（26.9%）

- 前年度に女性の役員がいなかった農協において、改選等で最も女性の役員比率を伸ばしたのは、和歌山県農協（＋16.7%）だった。

1位：和歌山県農協（＋16.7%）、2位：北海道みつし農協（＋10.0%）、
3位：北海道当麻農協（＋9.1%）

※和歌山県農協については、令和7年の合併により新設された農協。

- 前年度に女性の役員がいた農協において、改選等で最も女性の役員比率を伸ばしたのは、千葉県八千代市農協（＋14.5%）だった。

1位：千葉県八千代市農協（＋14.5%）、
2位：茨城県むつみ農協（＋13.3%）、3位：三重県伊勢農協（＋12.6%）

（以上）